

平成 25 年度「土木の日」記念行事

- <主 催> 公益社団法人 土木学会四国支部
<日 時> 平成25年11月12日(火) 14:30~16:00
<場 所> ホテルパールガーデン(高松市福岡町2-2-1)
<参加費> 無 料
<定 員> 180名

●プログラム

14:30	開会挨拶 土木学会 四国支部長 渡邊 政広 平成25年度 土木学会選奨土木遺産 認定書授賞式 認定遺産：旧桜谷発電所(きゅうさくらだにはつでんしょ)
15:00	特別講演 「南海トラフ地震津波に備える土木技術者の課題」 講師 磯部雅彦 高知工科大学副学長・土木学会次期会長
16:00	閉会

●特別講演

【プロフィール】 磯部 雅彦 高知工科大学 副学長 1952.9 東京生まれ 1975.3 東大・工・土木卒 1977.3 東大院・工・土木修士修了 1981.4 横国大・工・土木・講師 1983.4 同・助教授 1987.1 東大・工・土木・助教授 1992.1 同・教授 1999.4 同・新領域創成科学研究科・教授 2005.4 同・研究科長(併任・2007.3まで) 2009.4 同・副学長(併任・2011.3まで) 2013.4 高知工大・副学長 専門：海岸工学・沿岸環境学	【講演のあらまし】 2011 東北地方大併用沖地震津波を契機として、最大クラスの津波に対してはあらゆる手段を講じて人命を守り、それより発生頻度の高い津波に対しては海岸保全施設などによって浸水を防ぎ、人命とともに財産(生活と産業)を守るという方針が確立した。 この考え方は従来の延長でありながら、様々な新たな要素を含んでおり、土木技術者に対する課題を投げかけている。粘り強い構造の技術開発、海岸・港湾構造物の耐震・耐液化対策、最大クラスの津波に対する構造物の効果発現、津波避難施設・避難手段など、解決すべき課題が多い。 本講演においては、発生頻度の高い津波に対する防災、および最大クラスの津波に対する減災を効果的に実現するために必要となる、土木技術者の課題を整理し、土木学会の社会への貢献につなげたい。
---	--

<申込方法>

参加ご希望の方は、参加申込書に所定事項を明記の上、お申し込みください。

<申込締切>

平成 25 年 11 月 5 日（火）定員に満たない場合は、当日参加も可能です。

<申込先>

公益社団法人 土木学会四国支部事務局
〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル
TEL : 087-851-3315 / FAX : 087-851-3313
E-mail : office@jsce7.jp

FAX : 087-851-3313

土木学会四国支部事務局 宛

「土木の日」記念行事（特別講演会）参加申込書

勤務先	担当者連絡先
所属	TEL :
住所	FAX :
	E-mail :

	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
氏名				

※ 参加者が4名を超える場合は、コピーして追加してください。

通信欄	
-----	--